

「解答スペースが不足するときはそのことを明記して裏面に続けてもよい」

【問1】(関数の直交性) [20点]

区間 $[a, b]$ において、複素数値の関数 f, g に対して、積分 $\int_a^b f(x)\overline{g(x)}dx$ によって決まる複素数を内積 (f, g) とよぶ。ここで $\overline{g(x)}$ は $g(x)$ の複素共役である。

(1) 関数 $f(x)$ と $g(x)$ が区間 $-\pi < x \leq \pi$ で直交しているという。この事を数式を使って示しなさい。

(2) 関数 e^{inx} と e^{imx} が区間 $-\pi < x \leq \pi$ で直交していることを示せ。ここで n, m は整数で $n \neq m$ 。

【問2】(フーリエ級数) [20点]

周期 2π の関数 $f(x)$ の複素フーリエ級数は、 $f(x) \sim \sum_{n=-\infty}^{\infty} c_n e^{inx}$, $c_n = \frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x)e^{-inx} dx$ と表すことができる。周期 2π の関数 $f(x) = -x$, $-\pi \leq x < \pi$ の複素フーリエ級数を求めよ。

【問3】(ラプラス変換) [20点]

微分方程式

$$f'(x) + f(x) = 3$$

の両辺をラプラス変換することにより、この微分方程式の解を求めよ。なお初期値 $f(0) = 2$ とし、必要であれば、 $\mathcal{L}\{1\} = 1/s$, $\mathcal{L}\{e^{\alpha x}\} = 1/(s - \alpha)$, $\mathcal{L}\{f'(x)\} = -f(0) + sF(s)$ というラプラス変換の結果を使ってよい。ここで $F(s) = \mathcal{L}\{f(x)\}$ は $f(x)$ のラプラス変換である。

【問4】（フーリエ変換，線形システム）[40点]

(1) インパルス応答 $h(t)$ をもつ線形時不変システム S に複素正弦波 $f(t) = e^{i\omega t}$ を入力した時，システムの入力 $g(t) = S[f(t)] = \int_{-\infty}^{\infty} f(\tau)h(t-\tau)d\tau$ がどうなるか計算し，最終的な結果をインパルス応答のフーリエ変換 $H(\omega)$ を用い示しなさい．

(2) (1) の結果から分かることを簡潔な文章で記述しなさい．

(キーワード：問題文中の単語、周波数特性、振幅、位相、固有値、固有関数)

(3) インパルス応答 $h(t)$ が
$$h(t) = \begin{cases} 1-t, & 0 \leq t \leq 1 \\ 0, & \text{その他} \end{cases}$$

である線形時不変システム S に信号
$$f(t) = \begin{cases} 1, & 0 \leq t \leq 1 \\ 0, & \text{その他} \end{cases}$$

が入力された．たたみこみ積分によりシステムの入力 $g(t)$ を求め $g(t)$ のグラフを図示しなさい．